

土と心と社会との つながりをとりのもどそう！

2007年の春、
インド生まれの平和とエコロジーの思想家サティシュ・クマール氏は
日本にたくさんのメッセージを届けてくれました。

分断からつながりへ 競争から共生へ
グローバルゼーションからローカリゼーションへ
そして、非暴力のチカラ

シンプルでいて、エレガントなライフスタイルから作り上げる、
人や自然を傷つけない社会

そして、2年後の2009年11月、
サティシュ・クマール氏がふたたび日本にやってきます。

サティシュ・クマール Satish Kumar

1936年インド生まれ。9歳で出家し、ジャイナ教の修行僧となる。18歳の時にガンジーの教えに出会い、還俗。1963年から1年半の時間をかけて、無一文・徒歩で核廃絶を訴える地球規模の平和巡礼を行う。1973年にイギリスに移住、1991年にエコロジーと平和を探求するユニークな学園「シューマッハー・カレッジ」を創立、運営。エコロジーと文化の専門誌『リサージェンス』編集長。著書に『君あり、故に我あり』（尾関 修ほか訳 講談社学術文庫）、『精神のコンパス--快適な暮らしのためのガイドブック』（近刊）などがある。



「土」とのつながりが「心」を耕し、
十分に水と栄養を与えられた「心」が「社会」を変えていく。
持続可能な社会への鼓動が大きく膨らみ始めたいま、
さらにこの動きのすそ野を広げ人々を動かしていく
コミュニケーションのチカラ。精神のエネルギー。

サティシュ氏の言葉は心の奥深くに残り、燃え続ける贈り物です。

講演者と聴衆という枠をこえて、
おいしいお食事と音楽を楽しみながら、ともに響きあい、
新たな未来へつながる場をつくりあげたいと思います。

11月14日、葉山でお待ちしています。

